

## 9 月号訂正箇所

- 10頁 甲斐昭秀 → 甲斐秀昭
- 13頁 右上から17行目 中見出し  
易分解性有機物の体質 → 易分解性有機物の本質
- 11頁 第2表は下記の通り訂正致します

**第2表 稲ワラの分解に伴う易分解性有機物の集積と土壌の粘土の種類**

土壌の粘土の種類	粘土の塩基置換容量 (me/100g粘土)	易分解性有機物の集積率(%)	
		硫安無添加	硫安添加
モンモリン系	6.5～8.3	1.7	4.1～6.6
カオリン系	2.2～3.3	5.4	1.9～7.9
アロフェン系	3.8～4.6	2.3	5.1～8.8
砂	ほとんど0	6.0	2.3

- 13頁 第5表は下記の通り訂正致します

**第5表 易分解性有機物の集積と温度**

土 壤	易分解性有機物の集積率(%)		
	10℃	30℃	43℃
モンモリン系	1.4	13.7	3.5
カオリン系	1.0	11.2	4.5
アロフェン系	6.6	9.3	2.5
砂	4.5	8.7	2.1

- 13頁 第8表は下記の通り訂正致します

**第8表 菌体細胞壁部分の添加による易分解性有機物の集積**

土 壤	易分解性有機物の集積率(%)	
	易分解性炭素	易分解性窒素
モンモリン系	22.1	12.5
カオリン系	20.6	7.0
アロフェン系	19.5	5.9
砂	4.7	2.0
砂+リグニン	—	13.3